

令和4年度

事務事業評価表（令和3年度の実績評価）

記入年月日
令和4年4月1日

事務事業名	報道機関連絡事業	事業区分		事務事業No.	060101000946
		新規/継続 単独/補助	継続 単独	所属課	010101
政策体系上の位置付け					
政策体系	総合計画の施策名	0601	市民協働のまちづくり		秘書広報課
	政策名	06	みんなで築く自治のまちづくり		課長名
	施策名	01	市民協働のまちづくり		グループ
	手段名	01	①広報広聴の充実		担当者名
財務会計上の位置付け		事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業細
	01	02	01	04	01
法令根拠		桜川市報道機関連絡マニュアル	一般会計		単年度繰返し（平成28年度～）
【Do】		1.事務事業の現状把握（その1）	広報広聴事業		期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入

手段	①事務事業の概要（事務事業の全体像）		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順				
	<ul style="list-style-type: none"> 「桜川市報道機関連絡マニュアル」に基づき、報道機関からの取材依頼の取次・協議・調整を一元的に管理します。 プレスリリースを通じて、市からの情報発信を行います。 市の正確・迅速・確実な情報発信に繋がります。 「桜川市報道機関連絡マニュアル」を職員に周知し、情報の一元管理を推進します。 		<ul style="list-style-type: none"> 「桜川市報道機関連絡マニュアル」に基づき、報道機関からの取材依頼の取次・協議・調整を一元的に管理 プレスリリースの情報収集・作成・校正・情報発信を実施 「桜川市報道機関連絡マニュアル」の職員への定期的な周知 				

①手段（担当者の活動内容）								④活動指標（活動量を表す指標）		単位	02年度 （実績）	03年度 （実績）	04年度 （計画）	05年度 （目標）	06年度 （目標）
・「桜川市報道機関連絡マニュアル」に基づき、報道機関からの取材依頼の取次・協議・調整を一元的に管理する。		取材件数		件	21.00	38.00	25.00	25.00	25.00						
				件	40.00	75.00	60.00	65.00	65.00						
・プレスリリースの情報収集・作成・校正・情報発信を行う。					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
②対象（誰、何を対象にしているのか）								⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）		単位	02年度 （実績）	03年度 （実績）	04年度 （計画）	05年度 （目標）	06年度 （目標）
市民		人口		人	39,122.00	38,422.00	37,852.00	37,282.00	36,712.00						
				件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）								⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）		単位	02年度 （実績）	03年度 （実績）	04年度 （計画）	05年度 （目標）	06年度 （目標）
市の情報が得られる。		行政の情報が十分に提供されていると感じている市民		%	55.40	56.50	57.00	58.00	58.00						
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
				%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						

③ 投入量（事業費）の推移					02年度 （実績）	03年度 （実績）	04年度 （計画）	05年度 （目標）	06年度 （目標）	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
			県支出金	千円	0	0	0			
			地方債	千円	0	0	0			
			使用料・手数料	千円	0	0	0			
			その他	千円	0	0	0			
			一般財源	千円	0	0	0			
	事業費計（A）	千円	0	0	0					
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人						

事業費の内訳	03年度事業費実績（千円）					04年度事業費予算（千円）					
合計					0	合計					0

事務事業名	報道機関連絡事業	事務事業No.	60101000946	所属課	秘書広報課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成28年1月放送の情報番組での放送内容が発端となり、情報の一元化を図ることを目的に平成28年度から開始されたものです。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 平成28年第1回桜川市市議会定例会で情報の一元化の意見が寄せられました。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている プレスリリースを通じて市からの情報発信を行うこと、報道機関からの取材依頼等を一元的に管理することは、市の正確・迅速・確実な情報発信に繋げることであり、広報広聴の充実に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市の情報発信に繋がることであり、市が行うことは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない プレスリリースや取材依頼等を通じて、市の情報を効率的に発信しており、向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 報道機関を通じての市の情報発信、情報提供ができなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業はなく、統廃合・連携はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は計上していないため、削減できない。 人件費は広報担当者の2名で行っているため、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市の情報発信や取材対応の事業であるため、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今年度開催した広報主任勉強会において、「情報の一元化」及び「桜川市報道機関連絡マニキュアル」について、各課の広報主任に説明を行いました。職員への周知を図りました。また、定期的にグループウェア掲示板に掲載し、全職員に対して周知を図りました。																							
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性 (複数回答可)																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>低下</th> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×		低下	×	×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下	×	×	×																					
			(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>